

## 株主・投資家の皆さまへ

日本ケミファは、新薬メーカーでは他社に先駆けて 2000 年よりジェネリック医薬品を事業の柱として取り組んでまいりました。品質や安全性情報の信頼性が高いジェネリック医薬品を安定的に供給することによって、ジェネリック医薬品の普及を促進し、国民医療費の抑制に貢献したいと願っています。



### 2009 年 3 月期の業績

#### 増収になったものの利益面では苦戦の一年

2009 年 3 月期の経済状況を振り返ると、「100 年に 1 度の経済危機」と言われる米国発の金融危機が瞬く間に世界中にひろがり、日本経済にも大きな影響がありました。国内景気が劇的に悪化したことを背景に、あらゆる業界で抜本的な産業構造の改革が求められる中、医薬品業界でも、社会保障財政圧縮への対応や国際競争力強化の観点から、薬価制度見直しの議論が活発化しております。

そのような環境下、当社の売上高は 22,307 百万円と前期比 6.6%の増収となりました。しかし、営業利益は 580 百万円（前期比▲ 50.4%）、経常利益 363 百万円（前期比▲ 63.9%）、当期純利益 168 百万円（前期比▲ 56.9%）と利益面では大変苦戦をいたしました。

利益が圧迫された原因の一つとしては、売上原価が前期比 4.6 ポイント上昇したことがあげられます。当社平均約 6%の薬価改定の影響を受けたことに加え、ジェネリック医薬品の売上高構成比率が前期比 6.9 ポイント上昇して医薬品売上高の 60%を超えたこと等が原価率上昇の主要因となりました。

### ジェネリック事業は 100 億円突破、アムロジピンも好調

主力品は薬価改定の影響などから前期比 8.3%の減収となりましたが、ジェネリック医薬品は、7 月発売のアムロジピン錠「ケミファ」の貢献や DPC\* 対象病院数が約 2 倍となったことなど市場環境の追い風を受けて、病院や保険薬局への実績が伸長した結果、11,787 百万円と前期比 21.8%の増収となりました。

特に、アムロジピンは先発品市場が約 2,000 億円と、大きな注目を浴びた製品でしたが、当社は売上高約 900 百万円と常にジェネリック医薬品ではトップグループに位置することができました。2010 年 3 月期はアムロジピンが通期で売上に寄与し、加えて 11 月にはアムロジピンの OD 錠\*も発売される予定です。今後はプラバスタンと並び当社の主力ジェネリック製品に成長していくものと期待しています。

## 2010 年 3 月期

### ジェネリック事業拡大のチャンス之年

#### 増収増益の予想

2010 年 3 月期の業績予想は、ジェネリック医薬品の大幅な増収が期待できることから、営業利益、経常利益、当期純利益の全てにおいて二桁成長を見込んでおります。

特に、ジェネリック医薬品については当期比 19.8%増収の 14,000 百万円を見込んでおります。これは 2010 年 3 月期に DPC 対象病院が約 560 施設増えて合計 1,200 施設以上になること、新製品の発売時期が（これまでの 7 月から）2 か月早い 5 月になることに加え、アムロジピン錠「ケミファ」が通期で売上に寄与することなどによるものです。

国は、2012 年までにジェネリック医薬品の数量ベースを 30% まで伸ばすと明言していますが、現在のところ 20% 前後に留まっていると見られ、2010 年度の制度改革で更なるジェネリック促進策が施行されることは必至と思われます。当社は今後も当面はジェネリック医薬品事業に注力し、2011 年 3 月期までには売上高に占めるジェネリック医薬品の割合を 70% までに増やす予定です。

また、ジェネリック医薬品の中でも利益率の高い自社開発・共同開発によるジェネリック医薬品の売上高比率を高めることにより原価率アップを抑制すると共に、売上高の拡大と経費削減に努めることによって経費率を圧縮し、利益を安定的に確保できる体制を構築していきたいと考えています。

#### 発展への土台の構築

当社は「病院ジェネリック No.1」、「高尿酸血症領域におけるフロントランナー」と「探索型新薬の開発」という 3 つのミッションを掲げております。2012 年 3 月期までは国策でもあるジェネリック医薬品推進の波のり、ジェネリック医薬品事業での業容拡大に経営資源を集中投下し、成長への手ごたえをつかみ、第 2、第 3 の目標達成に向けて足掛かりにしたいと思っております。

#### 60 周年に向けて

当社は 2010 年 6 月に創立 60 周年を迎えます。これからも患者さんの健康を守る医療の場において、新薬はもちろん、ジェネリック医薬品でも、医療の質の向上や患者さんの QOL の向上に貢献し続けていくことをめざして、事業展開に取り組んでまいります。

株主の皆様には変わらぬご支援、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

2009 年 8 月

代表取締役  
代表執行役員社長

山口一城

\* OD 錠とは Orally Disintegrating Tablet の略。口腔内崩壊錠のこと。